

# 「大阪府都市基盤施設や府営住宅の維持管理の 効率化・省力化が見込める新技術を用いた実証実験募集」 実施要領

## 1. 目的・背景等

大阪府・大阪市・大阪商工会議所では、「実証事業推進チーム大阪（以下、チーム大阪）」を組織し、革新的な技術や製品・サービスの実証実験を行いやすい環境を整え、国内外から企業を呼び込むなど、「実証事業都市・大阪」の実現に向けた取組を推進しています。これまでに、様々な企業からの実証実験の応募を受け付け、大阪府・大阪市の関連施設や公共空間等における実証実験の実施を支援してきました。

他方、大阪府における都市基盤を取り巻く環境は多様化・複雑化しており、老朽化への対応、点検・維持管理業務の省人化・高度化、災害対応力の向上など様々な課題に直面しています。こうした課題に対応するため、大阪府では、都市基盤施設や府営住宅の維持管理の効率化・省力化に資する新技術を用いた実証実験を募集しています。

そこでチーム大阪では、大阪府が所管する道路（モノレールを含む）、河川、公園、下水道、港湾・海岸の都市基盤施設や府営住宅をフィールドとし、都市基盤施設や府営住宅の維持管理の効率化・省力化が見込める新技術を用いた実証実験を募集いたします。

申請案件については、内容や要件等の確認の後、実施に向けた実証場所の協議・調整をはじめ、広報・プロモーション等のビジネス化の支援などを行います。

### 〔本事業における実証実験のフィールド（大阪府所管）について〕

本事業における実証実験フィールドは、大阪府が所管する道路（モノレールを含む）、河川、公園、下水道、港湾・海岸の都市基盤施設や府営住宅です。

大阪府では、令和8年度部局運営方針の一つに「ストックマネジメントの推進による府民サービスの向上」を掲げ、大阪府都市基盤施設長寿命化計画に基づく都市基盤施設の維持管理の推進や、府営住宅の適正な管理や運営、新技術の活用等を推進しています。

## 2. 主催

実証事業推進チーム大阪（大阪府・大阪市・大阪商工会議所）

## 3. 募集内容

### (1) 募集する内容

- 大阪府が所管する道路（モノレールを含む）、河川、公園、下水道、港湾・海岸の都市基盤施設や府営住宅を実証フィールドとする実証実験を募集します。
- ただし、下記の①テーマ：「都市基盤施設や府営住宅の維持管理の効率化・省力化」に資

するものであり、②の対象分野に該当し、④の実証実験の要件を満たすものであることとします。

- AI（人工知能）を活用した実験や、将来の大阪府における導入・実装を見据えた実証実験も歓迎します。ただし、大阪府での導入が約束されているものではないことを予めご了承ください。

① テーマ：「都市基盤施設や府営住宅の維持管理の効率化・省力化」

② 対象分野：

ア AI（人工知能）

イ その他（ドローン、IoT・ロボットテクノロジー、オープンデータ・ビッグデータ）

※特に AI（画像等認識・解析・判定・スコアリング等）を活用した実証実験を歓迎します。

③ 対象フィールド：

大阪府が所管する道路（モノレールを含む）、河川、公園、下水道、港湾・海岸の都市基盤施設および府営住宅

④ 応募資格及び実証実験の要件：

- ・ 先端技術を用いた製品・サービスの概念の検証、技術や試作品の実験、事業化可能性の検証等、実証実験要素のある内容であること。（実証実験要素が乏しい案件や実証実験要素が確認困難な案件、既に市場投入されている製品・サービスなどは対象外）
- ・ 関係法令や公序良俗等に反しないこと。
- ・ 実施者が実証実験の関連法令を理解し、必要な技術力を有し、安全に実施することが可能であること（特に周辺住民の安全が確保されるものであること）。
- ・ 実施者が責任を持って実証実験を行うことが可能であること。
- ・ 別紙の「実証実験実施にかかる規約」に同意しこれを遵守すること。

※要件を満たさないことが事後に発覚した場合、応募者によるエントリーは遡及的になかったものとして扱うこととします。

⑤ 想定される新技術（例）

以下に記載している新技術を歓迎します。

【道路（モノレール含む）】

➤ AI を用いた交通量調査

自動車（車種別）・自転車・歩行者数及びこれらの進行方向等の交通量を、画像認識技術（AI）等を用いて調査する技術

- 斜張橋等ケーブルの点検技術  
ケーブルの内部鋼材の健全性や、視認の困難な定着部内部の状況が確認できる点検技術
- モノレール施設の点検技術  
幹線道路や高速道路など交通量が多い場所で、安全に点検期間が短縮できる技術（高解像度カメラなど非破壊によるコンクリート構造物の損傷確認等）

#### 【河川】

- 河川護岸背面の空洞化調査  
広範囲に空洞化が懸念される場合などに、護岸表面から電磁波レーダ等により非破壊で空洞化の範囲、深さを面的に把握できる非破壊点検技術
- 地下河川構造物の点検技術  
ロボット（ドローン）などを用いた、安全に点検できる技術（非破壊によるコンクリート構造物の損傷確認等）
- 堤防法面等における除草の効率化技術  
現状の肩掛け式草刈り機による除草の、無人化・自動化技術
- AI を活用した河川施設の損傷診断  
AI 診断技術を活用した河川施設の損傷診断が可能な技術
- 河川護岸の根入れ調査  
河川護岸の根入れ調査が可能な技術
- ドローン等を活用した各種データ取得  
ドローン等を活用した河道内の堆積状況、洗堀状況等のデータ取得が可能な技術

#### 【公園】

- 公園来園者数の調査及び属性等の把握  
来園者数、来園者の属性（年齢、性別、住居等）、滞在時間、来園目的、来園交通手段などのデータを簡便な方法により正確に把握する技術
- 街路樹の診断技術  
街路樹の定期点検（目視点検や揺さぶり点検等）を効率的に実施できる技術  
街路樹の精密診断が可能な非破壊検査技術
- ドローンを活用した公園樹林地における樹木の危険度調査  
UVA（ドローン等）や SLAM（リュック型 LiDAR）による 3D 測量データから樹木の危険度を AI 判定できる技術

#### 【下水道】

- 圧送管路のテレビカメラ調査技術  
圧送管路の空気弁等から管渠全体のテレビカメラ調査が可能な技術

【港湾・海岸】

- AIを活用した港湾・海岸施設における性能低下度の判定  
AIを活用した部材毎の劣化度判定を行い施設全体の性能低下度を判定する技術

【府営住宅】

- AIを活用した建築物外壁診断技術  
画像解析等によるAIを活用した効率的な外壁診断技術
- 地中埋設物非破壊探査技術  
府有施設の撤去工事後の地中埋設物の有無を高精度で感知することできる非破壊探査技術

※上記以外の新技術についても、応募をお待ちしています。

(2) 実験実施場所と実験実施可能期間

- ア 実施場所 : 大阪府が所管する道路（モノレールを含む）、河川、公園、下水道、港湾・海岸の都市基盤施設や府営住宅  
※実証フィールドの例は別紙参照

- イ 実験実施可能期間 : 令和9年3月31日（水曜日）まで（予定）

※実施場所・期間・内容等は、個別の調整となります。希望の実施場所で実施いただけないこともありますので、ご了承ください。

※使用場所等の原状回復及び実施結果報告書の提出が必要となります。

※実験実施にあたっては、使用許可及び占有料が必要となる場合があります。

(3) 募集件数

先着5件（予定）

(4) 結果の通知

応募案件については、都市基盤施設や府営住宅での実施可否、管理運営上の支障、安全性、法令適合性等を総合的に勘案の上、実施の可否結果を応募者へ個別に通知します。

(5) 受付期間

令和8年9月30日（水曜日）17時まで

※ただし、受付期間内であっても、応募件数が5件に達した時点で受付を終了します。

(6) 質問の受付

募集に関する質問等は、令和8年8月5日（水曜日）から令和8年9月30日（水曜日）12時までの間、下記の大阪商工会議所の問合せ先で電子メールにより受け付けます。電子メールのタイトルには、【大阪府都市基盤実証の質問】と記載して送信してください。

※ただし、質問の受付期間内であっても、募集の受付を終了している場合は質問の受付も終了します。

（質問の宛先）大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当 宛

E-mail : [sangyo@osaka.cci.or.jp](mailto:sangyo@osaka.cci.or.jp)

#### 4. 応募方法

##### (1) 実証実験エントリーフォームへの必要事項の入力・送信

下記 URL の応募サイトにアクセスの上、エントリーフォームに必要事項を日本語で記載し、送信してください。作成途上での一時保存はできませんので、ご注意ください。

【応募サイト】

URL : <https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202607/D22260723017.html>

※入力が終了した後に、「内容確認」ボタンをクリックし、入力内容を確認してください。ご確認いただいた後、「送信」ボタンをクリックすると自動でエントリーフォームが送付されます。入力いただいたメールアドレスに受け付けた旨を連絡する自動返信メールが届きますので、ご確認ください。自動返信メールが不着の場合は事務局へご連絡ください。

##### (2) 実証実験の実施計画書（必須）及び補足資料（任意）の提出

エントリーフォーム送信後に届いた自動返信メールに専用 URL を記載しております。専用 URL にアクセスし、**実施計画書（必須）**及び補足資料（任意）のファイルをアップロードしてください（アップロードの容量は、20メガバイト未満）。

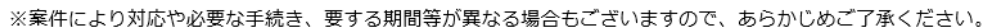
実施計画書の形式は自由ですが、**事業者の概要、実施したい実証実験の目的、概要、検証内容、方法、スケジュールなどのほか、実証実験の実施体制（協力企業などあれば記載）、緊急時・トラブル発生時の連絡体制、実装に向けた今後の展望についても記載ください。**

必要に応じて、技術の詳細などの補足資料も提出することができます。様式は自由ですが、動画は使用しないでください。ただし、動画サイトを資料の中で紹介すること（リンクの貼り付けなど）は差し支えありません。

また、システムの制約上、一度アップロードしたファイルの削除変更はできません。募集期間中に、削除、変更を希望される場合は、事務局へご連絡ください。募集期間終了後の削除、変更などは受け付けられませんので、送信される内容は十分ご確認ください。

※郵送、宅配便等での提出は受け付けておりません。

## 5. 実証実験の実施までの流れ



## 6. 留意点

あらかじめ次の点について十分にご理解をいただいた上で、エントリーくださいますようお願いいたします。

### (1) 誓約書の提出

- 実証実験の実施に当たっては、安全確保対応や費用負担をはじめ必ずご確認ください事項が定められている「実証実験実施にかかる規約」（別紙）を必ず遵守頂きます。
- このため、実証実験の実施前に、「実証実験実施にかかる規約」（別紙）を遵守すること、及び、提出されたエントリーシートや実施計画書等に虚偽の内容を記載していないこと、について誓約書（別紙）をご提出頂きます。
- また、誓約書のご提出時には、「代表者印（会社実印）」をご捺印の上、発行から3ヶ月以内の「印鑑証明書（原本）」を1通ご添付頂きます。
- 誓約書は、実証実験の実施が可能と判断された際にご提出頂きます。

## (2) 情報発信の取組

- 原則として、実施が決定した案件ごとに大阪府及び大阪商工会議所によりプレスリリースを行います。
- 実証実験の取組、成果等については、実証実験終了後、大阪商工会議所のＨＰ、機関紙等へ掲載するほか、実証実験支援事業に関する広報活動に使用いたします。また、チーム大阪が実施する報告会で報告いただくとともに、大阪商工会議所が主催するイベント等で報告等をお願いする場合があります。

(3) その他

- 実験の内容や時期により、ご希望に添えない場合や、実施できない場合があります。
- 実験を行う場合であっても、道路（モノレールを含む）、河川、公園、下水道、港湾・海岸の都市基盤施設、建築の各分野におけるフィールドの写真・動画撮影には管理者への可否確認が必要です。
- フィールド管理者向けに、施設利用申請等に関する書類を別途ご提出頂く場合があります。
- 本募集内容での実施が難しい場合、他の実証実験制度をご案内する場合があります。
- 実証実験の終了後には、「実証実験実施にかかる規約」に定めるとおり実績報告書等をご提出いただきます。その場合、ご提出いただいた実績報告書等について、大阪府・大阪市・大阪商工会議所が法令に基づき公開又は開示等に使用することがありますので、記載する内容につきましてはご注意ください。

| 問い合わせ先                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実証事業推進チーム大阪（事務局：大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当）<br>〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-8<br>TEL：06-6944-6300 E-Mail：sangyo@osaka.cci.or.jp |

## 【実証実験フィールド（例）】

### FIELDS

#### 一部フィールド紹介

大阪府都市整備部が管理する道路（モノレールを含む）、河川、公園、下水道、港湾・海岸の都市基盤施設や府営住宅における実証実験のフィールド提供や、一部区間での試行を通じて、企業さまに技術の実用性を確認していただけます。

※以下のフィールドはイメージです

くずが繁茂する道路法面



雑草が繁茂する道路法面



傷んだ舗装



雑木が繁茂する河道



防草シートを突き破る雑草



山間部の積雪・凍結路面



道路未利用地



山側より道路へ伸びる雑木



傷んだ岸壁

